

プレアヴィヒア ナチュラルプロジェクト

ナショナルオーソリティ・プレアヴィヒア来訪

日本カンボジア文化産業振興会



養殖事業を行っている敷地を管理している政府機関、ナショナルオーソリティ・プレアヴィヒアの来訪がありました。現在の現場の状況や今後のプラン、オーソリティからの要望などディスカッションを行いました。私たちが今後のプランとして考えていた稚魚の孵化施設の確立をしていくという点でオーソリティとしても要望の強い事業という事で、今後は魚の孵化にも注力していく予定です。他にもまだ手付かずになっている敷地の耕起を進め稲作や大豆、アヒルや鶏用の小屋を建設していく予定です。私たちのプランはオーソリティの方にも印象が良く、魚の孵化に精通された方や農業に精通された方などご紹介いただくといったお互いの協力体制がより強まりました。養殖についても新たに稚魚の放流を行ない、昨月来訪いただいた先生から指導いただいた育成ケアの知識をもとに現地に合った方法をスタッフと話し合いながら一丸となって質のいい魚の育成を心がけて日々作業に精を尽くしています。

編集後記

カンボジアの乾季

カンボジアは乾季と雨季の2シーズンに分かれます。乾季になると雨季で大きく育った草を燃やす野焼きが各地で始まります。野焼きを始めた人がしっかり火の行方を管理してくれると良いですが、そうでない場合は他の敷地まで火が広がり消防車が出動するといったケースや火力が強すぎて手に負えなくなるといったケースもあります。また乾季でも雨が降ることもあり、一度の雨で雑草が再び大きく成長してしまいます。カンボジアの雑草の生命力には驚かされますが、大変な作業の連続です。

